

My Special Aflac Duck™ のプロフィール

1. 開発背景

2. ダックの特徴

3. ダックの役割



4. 気持ちカード

5. きょうだいへのケア

6. 大人へのサポート

1. 開発背景

小児がんの子どもたちにとって治療そのものはもちろんのこと、ともだちと遊んだり学校に登校するといった同世代の子どもと同じような生活ができないことや、知らない大人に囲まれた入院中の特殊な生活環境なども、大きな課題です。My Special Aflac Duckは、このような小児がんで闘病中の子どもたちを応援するために、アメリカのアフラックで開発されました。



2. ダックの特徴

ダックはとても感情豊かです。やさしくなであげるとダックも喜んでくれます。音楽を聴くと踊り出してしまうこともあります。ときには居眠りをすることもあります。そんなときでも尻尾を握ってあげるとちゃんと目を覚ましてくれます。



3. ダックの役割

大切なパートナーとして

子どもたちがうれしいとき、辛いとき、様々な場面でダックは子どもたちに寄り添い、大切なパートナーとしての存在になってくれます。

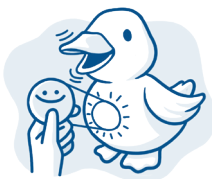


コミュニケーションの懸け橋として

子どもたちが自分の感情を伝えるのが難しいときにダックを使って気持ちを表現したり、大人たちもその子がどんな気持ちなのかを理解して、会話のきっかけを作ることができます。

4. 気持ちカード

ダックには、7枚の気持ちカードがついています。気持ちカードをダックの胸にかざしてあげると、ダックはそのカードにあわせた感情を表現してくれます。このカードを使って、ダックは子どもたちと周囲の人とのコミュニケーションをサポートします。



5. きょうだいへのケア

小児がんの子どもたちのきょうだいは、ときに寂しさや疎外感を感じてしまうことがあります。そんなとき、ダックと一緒に遊ぶことで安心した気持ちになってもらえます。また、ダックの気持ちカードを使って、きょうだい同士のコミュニケーションをサポートすることもできます。



6. 大人へのサポート

周囲の大人が子どもとうまくコミュニケーションが取れないとき、ダックや気持ちカードを使ってその子がどんな気持ちでいるのか知ることができます。

